

公園を調べに出かけましょう！

安全・安心なまちづくりを、公園から始めませんか？

このリーフレットは、都市緑化や緑のまちづくりについてさまざまな観点から調査研究をおこなっている、財団法人都市緑化技術開発機構の6つの研究会が共同で作成しました。

研究会の経験とノウハウを、是非あなたのまちの安全・安心の向上にお役立てください。

さあ、公園を調べに出かけましょう。

公園チェックシート 研究会の様々なチェックシートで、まちの安全・安心の現状を確認できます。

防災力アップカルテ

このカルテは、ふだん身近に利用している公園の「防災力」を診断して、防災力をアップさせるための対策（処方箋）を考え、その実施を支援するためのものです。市民・行政の担当者みんなが、共に「公園の防災力アップ」について考え、行動に移すための道具です。



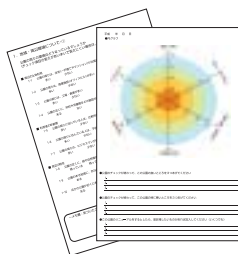
バリアフリー・シート

このチェックシートは、バリアフリー新法に基づき、都市公園におけるバリアフリー化の達成度を判断するためのものです。公園の立地や利用特性から、バリアフリー化の優先順位や、スバイラルアップのための方策を提案することを目的に作成しました。



リニューアル・シート

このチェックシートは、住民の方々に公園を見てもらい、公園の良いところ、悪いところに気付いてもらうことを目的に作成しました。また、行政の方々には地域住民参加型のワークショップなどを利用して、公園リニューアルを進めるためのツールとして利用いただくことも可能です。



まちづくり相談 各研究会の経験とノウハウを、是非あなたのまちづくりにお役立てください。

■ 特殊緑化について

建築物屋上・人工地盤・壁面・室内・道路高架の上部や下部・河川護岸など、従来、緑化が困難とされてきた空間を緑化する技術の研究開発と普及推進に努め、良好な都市環境の形成に資することを目的に活動を続けています。

特殊緑化共同研究会

■ グランドカバーについて

緑地管理の低減化や校庭の芝生化などによる環境負荷の少ない都市づくり、身近な緑の保全育成を目的とするグランドカバープランツ及び関連資材に関する調査研究及び普及推進に取り組んでいます。

グランドカバー共同研究会

■ ガーデニングについて

ガーデニングとランドスケープの融合を園りつつ直物材料、園芸資材を中心に造成・設計・管理を科学的、体系的に調査研究して、ドッグランなども取り込んだガーデニングを現代の生活と都市空間に広く普及し、かつ持続性のある発展を図ることを目的として活動しています。

ガーデニング共同研究会

■ 防災公園について

公園緑地やオープンスペースを有効に活用した避難地・避難路のあり方、防災に係る各種施設のあり方、災害発生時における情報伝達システムなど、災害に強いまちづくりの核となる「防災公園」の計画、設計、整備等に関する調査研究を行うとともに、その普及推進に取り組んでいます。

防災公園技術普及推進共同研究会

■ ユニバーサルデザインについて

屋外空間におけるバリアフリーやユニバーサルデザインの重要性を認識し、ユニバーサルデザイン実現のパートナーとして、コンサルタントやメーカー、施工者の一貫したチームプレイで「みんなのできる街づくり」をサポートしています。

ユニバーサルデザイン共同研究会

■ 緑のイノベーションについて

公園再生やマンション緑化、緑による景観整備など、新しく取り込むべき領域を探りつつ、必要な技術開発とシステム構築、技術展開方策について研究を行い、良質な地域環境づくりに貢献することを目的としています。

造園新領域開発共同研究会

お問合せは

企画・発行：平成21年4月 安全・安心プロジェクトチーム



財団法人 都市緑化技術開発機構

〒101-0021 東京都千代田区外神田2丁目15番2号新神田ビル8階

TEL 03-5256-7161 / FAX 03-5256-7164

URL: <http://www.greentech.or.jp> E-mail: midori.re@greentech.or.jp

財団法人 都市緑化技術開発機構



公園から始めよう 安全・安心のまちづくり



公園は危ない!?

公園は良好な都市環境の形成に不可欠です

緑あふれ潤いのある公園は街の財産です。木陰での休憩、お花見や紅葉狩り、子どもたちの遊び場など、公園は私たちの憩いの場です。また、地域の個性づくり、文化・スポーツの拠点、防災活動の拠点として、都市には不可欠な存在です。公園を良好な状態に保ち、安全で安心な場所にし、「みんなに愛される公園」にしたいものです。



公園は、今・・・

しかし、使う人のマナーの悪さによるゴミの散乱や違法駐輪、いたづらや落書きによる施設の破損、古くなった遊具やベンチの数々、伸び放題の植栽など公園は、今、多くの問題を抱えています。



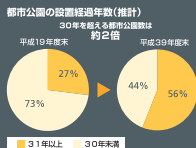
公園は適切な管理と点検でもっとよくなります

公園は時間の経過とともに変化していきます。トイレや遊具などの老朽化、樹木の繁茂による見通しの悪さなどの問題に対して、日々の点検や適切な管理によって、いつでも安全で安心な、そして使いやすい公園であることが求められています。



多くの公園は若返りが必要です

ところで、公園の多くは昭和の時代に整備され、20年以上経過したものが半数近くの4万ヶ所もあります。施設の老朽化や構造物の劣化などが事故につながらないか心配です。また、周辺の街の様子も変わり、公園に求められる役割を見直す必要がある公園もあります。



安全・安心まちづくりを公園リニューアルから始めましょう

災害はいつ起こるか分かりません。公園は緊急時の避難場所としてとても重要な空間です。また、お年寄りや子どもたちにとって、みんなが集う公園は、心から安心できる場所です。安全で安心な街にするために、まず、公園のリニューアルから始めることが重要です。

Yes We Can



あなたの街の安全・安心のために、まず、公園のリニューアルから始めましょう!

SURVEY

公園を調べる

施設や出入口、緑などの項目について、公園を総点検します。公園の機能を再確認、見直しを行ない、利用者の安全・安心のための課題を明らかにします。

☒ 公園で安心して過ごせますか?



遊具の安全は確保されていますか? 死角や暗がりのない公園ですか?

☒ すべての人に優しい公園ですか?



ユニバーサルデザインになっていますか? 高齢者や障害者にも配慮していますか?

☒ 災害時に利用できますか?



災害時の避難場所に使えますか? 防災機能を持った施設は十分ですか?

☒ 身近に自然を感じられますか?



環境保全に役立ちますか? 虫や鳥などの生き物が生息していますか?

☒ きれいで使いやすい公園ですか?



トイレは衛生的できれいですか? ベンチや休憩施設は充実していますか?

☒ 住民との協働により地域の個性が生まれていますか?



みんなで協力して育てる花壇や、地域の行事に利用できるようになっていますか?

P LANNING

計画を立てる

まちづくりの方向性を踏まえ、新たな公園の機能についても必要に応じて明記します。整備、改修の方針と内容をまとめ、事業の緊急度、優先順位を定めた計画をつくります。

※国土交通省の「公園施設長寿命化計画」として支援を受けることができます。

「公園施設長寿命化計画」とは

本計画は、都市公園における公園施設について、今後進展する老朽化に対する安全対策の強化及び改築・更新費用の平準化を図る観点から、適切な施設点検、維持補修等の予防保全的管理の下で、既存ストックの長寿命化対策及び計画的な改築・更新を行うことを目的として作成するものです。

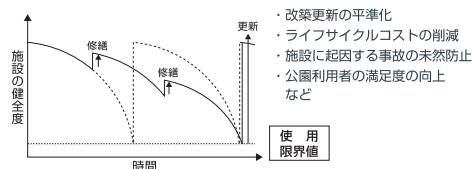
施策概要

【策定主体】 地方公共団体

【計画の内容】

- ・公園施設の設置状況の把握
- ・公園施設の健全度の把握
- ・点検の実施体制の構築
- ・点検頻度の設定
- ・修繕・補修実施の判断基準の設定
- ・施設の改築計画の設定

施策の効果



A CTION

再整備を進める

計画に基づき、まち全体にバランスよく、緊急性の高い公園から再整備を進めていきます。

※公園の安全・安心対策は、「都市公園安全・安心対策緊急総合支援事業」として支援を受けることができます。

都市公園安全・安心対策緊急総合支援事業

【事業目的】	既設都市公園において、防災機能や施設の安全性向上を図るため、都市公園の具体的な改善目標、改善方針および方策を定めた事業計画に基づいて行う公園の安全・安心対策事業について、その計画的な実施を支援する。
【対象都市】	都市公園安全・安心対策緊急総合支援事業・事業計画を策定した地方公共団体
【事業期間】	5年
【事業費要件】	期間中における事業の合計国費が15百万円（都道府県事業は30百万円）×計画年数以上）
【補助率】	50%（起債充当率90%、うち交付税措置30%）

事業計画イメージ

防災機能向上	バリアフリー化	改築・更新
・地域防災計画等に位置づけのある施設の新設	・新バリアフリー法に基づく整備	・公園施設長寿命化計画に基づき、適切に維持管理されている施設
・体育館の耐震化 ・備蓄倉庫 ・耐震性貯水槽 ・防災トイレ	・入口のバリアフリー化 ・既存トイレのバリアフリー化	・休憩所の改築 ・遊具施設の更新 ・運動施設の改築

M ANAGEMENT

管理・運営する

安全・安心な公園を維持していくためには、住民の皆さんと行政、そして専門家が協力して管理運営に取り組むことが大切です。



市民による植栽管理（アダプト活動の事例）
アダプト活動は市民と行政が協働で進める「街美化プログラム」です。アダプト（ADOPT）とは「養子にする」という意味の英語で、身近な公共空間の美化を促進するために、市民が公園や道路の植栽地などの公共空間の里親となって水やりや草取りなどのボランティア活動を実施します。



専門家の技術と知恵を活かす
高所作業車による高木の整枝剪定や遊具などの安全点検、安全点検、施設の改修、自然観察会のガイドなど専門家の技や知恵を活かすことで、安全・安心そして楽しい公園をつくり育てることができま



市民協働による公園運営
公園は市民みんなの財産です。公園では、市民が企画し運営するバーベキュー、演奏会や花の講習会などが盛んにおこなわれています。身近にある公園をみんなで利用し運営に参画することで公園や街を大切にしようという意識が高まり、安全・安心な公園・まちづくりにつながります。